
君が愛すこの世界で = Borad last world =

櫻庭 稜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君が愛すこの世界で = Borad last world =

【Nコード】

N0094Y

【作者名】

櫻庭 稜

【あらすじ】

ねえ、君はこの世界が好きかい？

俺は嫌いだよ。

こんな世界、大嫌いだ。

でも、君が好きだと言うのなら、俺は××でも喜んでしようじゃないか。

さあ、君の愛したこの世界で、何と嘆こうか？

（残酷な表現、描写。卑猥な描写、表現が登場します。苦手な方は即座にバックブラウザ）

（ 屈折、歪み切った、世界を斜めから見た物語の為、所所面倒な部分もあり、稚拙な文章もありますが、暇潰しにでも読んで貰えればこれ幸いです。では、どうぞ）

第一章主要用語紹介

科織市しなしまち //

県下でもそれなりに大きな市だが、かなり露骨な造りの市。

市の中央を割って東西に走る『織那川しきなかわ』を挟んで、北側が都市機能を集中させた市街地。南側がそのベッドタウンの住宅地。それを大鉄橋『科織大橋』が結んでいると言う形の都市。学校の数は多く、一種の学園都市とも呼べる状態だが、それには市の規模が足りておらず、範囲も足りない為に、学園都市とはなれない。

科織高等学校 //

科織市の中でも有名な高等学校。

成績としては中の中。特に校則も厳しくなく、バイク登校する者も存在する位の学校。

但し、他人に迷惑は掛けるな、との事から、余り生徒達は不良とは言えども不真面目ではない。

中には風変わりの者も居るが、直ぐに空気を読んで変わる。

謎の高校生失踪事件 //

三ヶ月以上前から市を騒がせている失踪事件。

新聞の一面にも取りだ足され、警察も捜索願や、捜索届け、捜索を行っているが、今の所発見されていないらしい。

物質世界マテリアルワールド //

今の主人公達の生きている世界を指す言葉。

物理法則に支配されており、普段の生活では目の前に展開される事象その物を指す場合もある。

逆転世界リバーサルワールド //

物質世界の反対の世界。物理法則に支配されず、己の意志のままに動き、舞い、巡る事の出来る空間。常人で入っていられる時間は二時間が限度らしく、それは精神を蝕む恐れがあるからだそうだ。

「『P』^{ルエ}」

逆転世界のみ現れる、物質世界に存在し得ない奇怪生物。

奇妙な形を持つ者や、光線、閃光を放つ者も存在するらしい。

形は様々で、人型、獣型などが一般的。^{クラス}級によって、強さが違い、最上級になると単独討伐は不可能以前に禁止される。

「眠り姫」

主人公が君を指す言葉。

眠り続け、眠り続ける不老不死の存在。

決して目を覚ます事はないと言われるが、それでも信じているらしい。

「黒鷲」

逆転世界に行く事の出来る『討伐組織』

依頼があれば普通に殺し屋としても稼動するが、大体は討伐がメイン。

最大四人グループでの行動を行い、討伐した成果を上げて行く。

逆転世界に地平線は無い為に、現れれば群れで現れるのがお約束だと言っ。

第一章登場人物紹介

名前：秋瀬十夜 あきがせ とおや

年齢：17歳

職業：科織高等学校二年生

出身：科織市

所属：黒鷲

本作品の主人公にして、語り部。

藍色に近い黒色の髪に、藍色の瞳を持つ、線の細い女性の様な青年。「僕」と「俺」の二つの一人称を使い分け、それぞれで遣い時があるとの事。

運動神経も頭も並々だが、何処かポエマーな一面を持ち、反射神経と反応速度が尋常では無い速さを誇る。ルックスは中の中あたりなのだが、現実を斜め上目線から見ると、常人とは少し違った価値観、客観性を持つ。温厚で、人当たりの良い人物だが、一旦冷酷な牙が剥けば、赤子でも女でも喜んで殺す性格へと変貌する。資金問題で働くか働かないかを判断するらしい。

名前：不明

通称：眠り姫

年齢：不詳

職業：不明

所属：無し

体質：不老不死

中央病院に十年近く入院している少女。

白い、白銀に近い長い髪に、小さく華奢な体の持ち主。

不老の為に年を取らず、不死の為に死ぬ事の許されない存在。

過去に強大過ぎる精神的ダメージを受けた為、植物状態へとなってしまったとの事。

全身に様々な機械、体温、血圧、心拍、脳波を測る装置を取り付けている為、入る事が許されているのは、十夜と専属の医師だけとなっている。

名前：篠宮真弓しのみやまゆみ

年齢：21歳

職業：科織大学三年生

出身：科織市

所属：黒鷲

黒鷲に所属する美人。通称「女傑」。

黒く綺麗な長い髪と、若干深緑色をした瞳を持つ絶世の美女。

冷静沈着で、任務の事ならば必ず成功させようとしますが、その余りに無駄な事に首を突っ込んでしまう場合があり、それを良く注意される。

視力が異常なまでに良く、相手の動きが止まって見えるほどだと言う。

下着は下のみで、上は付けられない派らしいが、実際以前に大変な事にあつたにも関わらず、未だに上は付けられないとの事。酒が入ると猫語を使用し、滅茶苦茶な性格へと変貌するので注意。

名前：真田真琴さなだまこと

年齢：17歳

職業：科織高等学校二年生

出身：外部

所属：黒鷲

立派な男子生徒で、十夜の友人。

赤色の髪に、茶色の瞳を持つ若干不良混じりの高校生。

特攻隊長として活躍し、前線では必ず数十体片付けてから舞い戻る。明朗快活で、ムードメイカーとして黒鷲では有名でもある。

甘味大好き野郎の為、良く十夜の家に乗り込み茶菓子を食へに来る事が多々ある。

健全な男子高校生故、真弓に惹かれる場面がチラホラ見られる。

名前：敷浪しきなみⅡ AとぎわⅡ 常磐

本名：敷浪Ⅱ アルフレディオⅡ 常磐

年齢：不詳

職業：黒鷲最高責任者にして統括

出身：科織市

所属：黒鷲

黒鷲の最高責任者にして統括を務める男。

威厳漂う風貌の持ち主だが、温厚で人当たりの良い人物。

クリーム色に近い髪を後ろで束ねており、緑色の瞳が嫌に目立つ。

ハーフの為に、時折英語を織り交ぜてくる事がある。

作戦時は冷静に状況報告等を行う。

名前：大和田

職業：教師

年齢：35歳

十夜の学校で教師を務める体育教官。

厳しい分、優しい教師の鑑だが、時折ツッコム。

俺と彼女（前書き）

さて、と。

既に深夜ですな、もう二時半過ぎ。

良い子は寝る時間ですよ、てね。

まあ、良い子じゃない俺が言つのも何ですが……。
で、ですよ。

今回、非常に斜め目線の小説です。

酷い物です、ですので暇潰しにでもどうぞ。

ではでは！

俺と彼女

ふわりと、花の香りが流れ出した。

室内の証明は落ちている。窓から差し込む月明かりが、ほのかに部屋を照らしている。

病室は、中央を大きなカーテンで仕切られている事が多い。

しかし、この病室は違った。

普通の病室では有り得ない量の電子機器が、周囲には並べられ、それから伸びた線が床に散らばっている。

普通の病室には有り得ない光景だ。普通の病室に有るとしたら、血圧計程度だろう。それなのに、彼女の周囲にあるのは、心拍、脳波、血圧、体温を測定する機器や、点滴機器。それはまるで救急救命の人間に使う様な電子機器が此処には勢揃いしているのだ。

俺の鼓動に合わせる様に、ピッピッピ、と言う規則正しいリズムを刻む電子音が部屋には響き続けている。

「お早う、眠り姫……。今日はどんな夢をみたんだい？」

俺はそう問い掛ける。

勿論返答はない。

「俺は君が目覚めて、僕とデートしている夢をみたよ。滑稽だろう

「？」

漏れる笑いも、今の彼女には届かない。

「ねえ、眠り姫？」

俺は線を踏み越え、彼女の横たわるベッドに歩み寄る。

「君はこの世界が好きかい？」

そのまま彼女の眠る邪魔にならない位置に腰掛ければ、そっと彼女の頬に触れる。

「俺は嫌いだよ」

透き通る様に白い肌に指先を滑らせ、首筋に触れる。

「この世界が大嫌いだよ」

指先を滑らせ続け、そっと離せば自嘲めいた笑みを浮かべ、彼女に投げ掛ける。

「君はこの世界の何処が気に入ってるんだい？」

返答がないのは解っていても、投げ掛け続ける。

「解らない。君がこの世界を気に入っている理由が……。まあ、確かに俺はこの世界が大嫌いだよ。君が気に入っている理由が本当に解らない程にね？」

自嘲めいた笑みは歪み、壊れる。

「でもね、君がこの世界を愛すと言つのなら、俺は君に従うよ。君の愛すこの世界を、君が愛したこの世界を、もし世界を蹂躪する奴等が居るとするのなら、俺が殺し尽くそうじゃないか」

俺は額に手を当てて、笑みを消してから、スツとベッドから下り、ポケットに手をつ突っ込んでから線を越え、歩み始める。

「殺して、殺して、殺し尽くす。誰一人居なくなつた世界で、それでも俺がこの最低な世界を愛せないのなら、その時は君を殺すよ。眠り姫様」

俺の手は真っ赤だ。

真っ赤過ぎて、肌の色も解らない。

彼女の手は真っ白だ。

俺とは正反対だ。

どうして、此処まで差が出てしまったんだろうね。

「どうして、君は俺を呼んだんだい………？」

病室の扉を開け、外に出てからそう、届かない問いを投げ掛ける。

嗚呼、

「嗚呼……、月が綺麗だ」

今宵は、満月みたいだ。

俺と彼女（後書き）

どうでしたでしょうか？

さてさて、この少年と彼女の関係は？

ではでは！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0094y/>

君が愛すこの世界で = Borad last world =

2011年10月29日04時16分発行